

新潟初入港！ 護衛艦きりしま艦艇広報



新潟地本（本部長 1陸佐 小見明之）は7月16日（土）、17日（日）の両日、新潟東港において海上自衛隊第2護衛隊群第6護衛隊所属イージスシステム搭載型護衛艦きりしま（艦長 1海佐 石寺隆彦）の艦艇広報を行いました。

新潟地本として3年ぶりとなる艦艇の一般公開を開催し、同艦初となる新潟入港に見学開始時間前から長蛇の列ができるなど、きりしまの人気と艦艇広報への期待の高さが伺えました。

見学が開始されると来場者は笑顔を見せてきりしまに乗艦し、装備品や艦橋を見て「大きくてかっこいい。」と言った驚きの声を挙げていました。中でも主砲の操法展示は注目を集め、大きな歓声が起こりました。





岸壁では新潟地本の募集広報ブース（自衛隊説明・制服試着コーナー・南極の氷展示）にも多くの人々が立ち寄り、広報官から自衛隊の説明を聞く姿や、特別展示された南極の氷に触れたり、制服を試着して記念撮影をするなど、どのコーナーも人気を博しました。また、航空自衛隊新潟救難隊の救難隊装備品展示を含む広報ブースや陸上自衛隊第30普通科連隊の車両も展示し、陸・海・空3自衛隊の装備品が揃い大きな賑わいを見せました。来場者からは、「イーゼス艦だけでなく自衛隊の説明を聞いたり、陸上・航空自衛隊の装備品を見ることができて楽しかった。これからも日本を守る自衛隊を応援したいと思った。」等の声を聞くことができ、高い広報効果がありました。

新潟地本は今後も艦艇広報で海上自衛隊の魅力を発信し、併せて自衛隊への親しみを深めてもらう広報活動を行います。

